

国民年金

～新成人の皆さんへ～

20歳になったら国民年金

国民年金は、年をとったときやいざというときの生活を、現役世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。

国民年金のポイント

■将来の大きな支えになります

国民年金は20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納める制度です。国が責任をもって運営するため、安定していますし、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

■老後のためだけのものではありません

国民年金には、年をとったときの老齢年金のほか、障害年金や遺族年金もあります。障害年金は、病気や事故で障害が残ったときに受け取れます。また、遺族年金は、加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族（「子のある配偶者」や「子」）が受け取ることができます。

「学生納付特例制度」と「納付猶予制度」、「全額免除・一部免除制度」

■「学生納付特例制度」

学生は一般的に所得が少ないため、本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料が猶予される制度です。対象となる学生は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校（修業年限1年以上である課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する人で、夜間・定時制課程や通信課程も含まれます。

■「納付猶予制度」

学生でない50歳未満の人で、本人や配偶者の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

■「全額免除・一部免除制度」

本人、世帯主および配偶者の所得が一定額以下の場合に、保険料が全額免除または一部免除される制度です。

■問い合わせ 役場住民課 住民係 ☎096(293)3112、熊本西年金事務所 ☎096(355)3261

新春企画 「わがまち自慢」プレゼント

- 応募締切 1月31日(金)必着
- 応募方法 住所、氏名、年齢、広報おおづに対するご意見を記入してご応募ください。
- 当選者発表 当選者の発表は賞品の発送をもってかえます。
- あて先 〒869-1292 (住所不要) 大津町役場
菊池地域4市町
「わがまち自慢」プレゼント係

プレゼント

- 菊池市 七城のこめ2kg 2人
 - 合志市 赤大豆きなこキャラメルポップコーン & ユーパレス弁天温泉入浴券（2枚1組）2人
 - 菊陽町「さんふれあ」さんさんの湯入浴券（2枚1組）2人
 - 大津町 からいも食べ比べセット（ほりだしくん・べにはるか合計5kg）2人
- ※上の商品のいずれかが抽選で当たります。

応募してプレゼントをゲットしよう!



語り部交流会

2019

inkumamoto

県には加藤清正をはじめとする歴史・文化、豊富な自然や景観など、世界に誇る自然があふれています。その一部が大津町にもしっかり根づいています。それが2018年に「世界かんがい施設遺産」に登録された白川流域かんがい用水群の「上井手、下井手用水」です。11月28日に、PRをかねて行われたイベントの様子をお伝えします。

「語り部交流会inkumamoto」

11月28日に町生涯学習センター文化ホールにて熊本県と大津町、熊本市、菊陽町でつくる歴史・文化によるくまもと創生プロジェクト実行委員会の主催で開催されました。テーマとしては、農業県である熊本県が誇る農業土木技術の発達した過程を紹介。「かんがい施設 上井手・下井手用水」の当時の最先端技術としての有効性や、現代においても活躍中の農業技術のすばらしさを伝えるものです。



熊本大学准教授である濱武英さんによる基調講演では上井手・下井手用水の農業的価値を

上井手・下井手用水の説明

発表。かたりすと平野啓子さんによる語りでは「戦国武将・加藤清正」の逸話を交えながら町の伝統文化「梅の造花」、「銅銭糖」を語りあげ、澄んだ透明感のある声で会場を魅了しました。後半では、クリーンみなみ（大津南小学校）が日ごろの用水路の保全の取り組みを発表。また、語りフォーラムと題して、地域活動を行っている「上井手の水とともに生きるまちづくりの会」がパネリストとして発表し、活動内容、町での取り組みを説明し、町内外から参加した皆さんに説明していました。



クリーンみなみによる力強い発表



平野さんの梅の造花の説明



基調講演を行う濱准教授

町が誇る農業用水路を発信しながら地域での活動を紹介する催しに参加した人たちからも「知らないことが知れたのでとてもよかったです」「上井手と一緒に町の文化も守りたい」という声が聞かれました。

世界かんがい施設遺産とは

かんがい施設の歴史、発展を明らかにし、有効性の理解をはかり適切に管理保全をしてもらうために、歴史的なかんがい施設を国際かんがい排水委員会が認定登録する制度です。令和元年度までに日本国内で39の施設が登録され、上井手、下井手を含む「白川流域か

んがい用水群」は平成30年度に登録されました。今後の地域づくり活動への活用が期待されています。

認定証▶

